

副次効果評価調査

主要目標番号	II-1. (2)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標	災害に強い道路の確保					
評価対象地区・箇所名	国道411号(裂石工区)・甲州市塩山上萩原裂石					
主要目標項目	I 県民生活の豊かさ と経済の発展を支える 基盤充実	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上	●注		
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	●注		
			(3) 市街地内の交通の円滑化			
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	●注		
		I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上			
			(2) 憩い空間の創出			
			(3) 生活排水処理機能の向上			
	(4) 良好な市街地空間の確保					
	(5) 適正な居住空間の確保					
	(6) 歩行者等の通行空間の確保		●			
	(7) 道路景観の向上					
	I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上				
		(2) 農業生産力の向上				
		(3) 農業用排水能力の向上				
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				
		(5) 森林整備の効率化				
	II 暮らしと経済活動の 安全性確保	II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保	●		
			(2) 災害に強い道路の確保			
			(3) 都市災害防止	●		
			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上			
		II-2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止			
(2) 土石流被害の防止						
(3) 崖崩れ被害の防止						
(4) 地滑り被害の防止						
II-3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減					
副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化	●			
		アクセス機能の維持	●	○	集落と集落を結ぶアクセス道であり、通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる道路	
		主要渋滞ポイントの解消	●			
	生活環境	水質の浄化				
		大気汚染の軽減	●			
		騒音・振動の軽減	●			
		良好な景観の創出	●			
		バリアフリー化の促進	●			
		ライフラインの強化	●			
		身近な緑地・交流の場の提供	●			
		飲雑用水の安定供給				
		糞尿の処理				
		地域の文化・学習等活動の支援				
	各種情報の円滑な提供					
	自然環境	水源涵養機能の向上	●			
		生態系空間の再生				
	事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保	●			
		緊急時の避難・救助機能の確保				
		被災時の被害波及の防止				
		既存施設の崩壊危険性の排除				
	生産性	林業生産力の向上				
遊休農地の解消						
新たな公共用地の創出						
農地の保全						
その他	農林産物の販売促進					
	自然エネルギーの活用					
	リサイクルの推進					
	文化・歴史的資源等の保存・復元					
	他事業との一体施工	●				
	重要プロジェクトとしての位置づけ	●				
副次効果 評価点合計						1

注1「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所想定される副次効果」の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクbに該当するものは1点、ランクcに該当するものは0点とする。
 注3「II-1. (1)歩行者等の安全性の確保」「II-1. (2)災害に強い道路の確保」「II-1. (4)交差点の安全性、円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価にあたり、「I-1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。

副次効果評価調査

主要目標番号	II-1. (2)	主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所	評価の説明	評価結果
主要目標	災害に強い道路の確保				
評価対象地区・箇所名	(主)北杜富士見線(松木坂工区)				
I 県民生活の豊かさ と経済の発展を支える 基盤充実	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上	●注		
		(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	●注		
		(3) 市街地内の交通の円滑化			
		(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	●注		
	I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上			
		(2) 憩い空間の創出			
		(3) 生活排水処理機能の向上			
		(4) 良好な市街地空間の確保			
		(5) 適正な居住空間の確保			
		(6) 歩行者等の通行空間の確保	●		
		(7) 道路景観の向上			
	I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上			
		(2) 農業生産力の向上			
		(3) 農業用排水能力の向上			
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)			
(5) 森林整備の効率化					
II 暮らしと経済活動の 安全性確保	II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保	●		
		(2) 災害に強い道路の確保			
		(3) 都市災害防止	●		
		(4) 交差点の安全性、円滑性の向上			
	II-2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止			
		(2) 土石流被害の防止			
		(3) 崖崩れ被害の防止			
		(4) 地滑り被害の防止			
	II-3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減			
	副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化	●	
アクセス機能の維持			●	○	1カ所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要
主要渋滞ポイントの解消			●		
生活環境		水質の浄化			
		大気汚染の軽減	●		
		騒音・振動の軽減	●		
		良好な景観の創出	●		
		バリアフリー化の促進	●		
		ライフラインの強化	●		
		身近な緑地・交流の場の提供	●		
		飲雑用水の安定供給			
		糞尿の処理			
		地域の文化・学習等活動の支援			
各種情報の円滑な提供					
自然環境		水源涵養機能の向上	●		
	生態系空間の再生				
事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保	●			
	緊急時の避難・救助機能の確保				
	被災時の被害波及の防止				
	既存施設の崩壊危険性の排除				
	走行安全性の確保	●			
生産性	林業生産力の向上				
	遊休農地の解消				
	新たな公共用地の創出				
	農地の保全				
その他	農林産物の販売促進				
	自然エネルギーの活用				
	リサイクルの推進				
	文化・歴史的資源等の保存・復元				
	他事業との一体施工	●			
	重要プロジェクトとしての位置づけ	●			

副次効果
評価点合計

1

注1「主要目標」に対応する副次効果項目の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクbに該当するものは1点、ランクcに該当するものは0点とする。
 注3「II-1. (1)歩行者等の安全性の確保」、「II-1. (2)災害に強い道路の確保」、「II-1. (4)交差点の安全性、円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価にあたり、「I-1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。

副次効果評価調査

主要目標番号	II-1. (2)	主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所	評価の説明	評価結果
主要目標	災害に強い道路の確保				
評価対象地区・箇所名	(主)富士川身延線 井出2期				
I 県民生活の豊かさ と経済の発展を支える 基盤充実	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上	●注		
		(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	●注		
		(3) 市街地内の交通の円滑化			
		(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	●注		
	I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上			
		(2) 憩い空間の創出			
		(3) 生活排水処理機能の向上			
		(4) 良好な市街地空間の確保			
		(5) 適正な居住空間の確保			
		(6) 歩行者等の通行空間の確保	●		
		(7) 道路景観の向上			
	I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上			
		(2) 農業生産力の向上			
		(3) 農業用排水能力の向上			
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)			
(5) 森林整備の効率化					
II 暮らしと経済活動の 安全性確保	II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保	●		
		(2) 災害に強い道路の確保			
		(3) 都市災害防止	●		
		(4) 交差点の安全性、円滑性の向上			
	II-2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止			
		(2) 土石流被害の防止			
		(3) 崖崩れ被害の防止			
		(4) 地滑り被害の防止			
	II-3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減			
	副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化	●	
アクセス機能の維持			●	○	1箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要
主要渋滞ポイントの解消			●		
生活環境		水質の浄化			
		大気汚染の軽減	●		
		騒音・振動の軽減	●		
		良好な景観の創出	●		
		バリアフリー化の促進	●		
		ライフラインの強化	●		
		身近な緑地・交流の場の提供	●		
		飲雑用水の安定供給			
		糞尿の処理			
		地域の文化・学習等活動の支援			
各種情報の円滑な提供					
自然環境		水源涵養機能の向上	●		
	生態系空間の再生				
事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保	●			
	緊急時の避難・救助機能の確保				
	被災時の被害波及の防止				
	既存施設の崩壊危険性の排除				
生産性	林業生産力の向上				
	遊休農地の解消				
	新たな公共用地の創出				
	農地の保全				
その他	農林産物の販売促進				
	自然エネルギーの活用				
	リサイクルの推進				
	文化・歴史的資源等の保存・復元				
	他事業との一体施工	●			
	重要プロジェクトとしての位置づけ	●			
副次効果 評価点合計					1

注1「主要目標」に対応する副次効果項目の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクbに該当するものは1点、ランクcに該当するものは0点とする。
 注3「II-1. (1)歩行者等の安全性の確保」、「II-1. (2)災害に強い道路の確保」、「II-1. (4)交差点の安全性、円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価にあたり、「I-1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。